

高野山で密教体験

さて WOO の諸君、梅雨のまったく中ウジウジとした生活を送っていることだと思ふ。いかんぞ。今日はキサマらの腐った性根をたたき直す指令を申し渡す。

修行をしてくるのだ。

修行といえば、火の中を歩くアレとか

凍てつく寒さの中、滝の水に打たれるアレとか

山の中を毎日毎日歩きまわるアレとか



まあ色々あるわけだが、キサマらにも日々の生活があることは分かっている。時間がかかったり、翌日に影響が出るような修行をしるとまでは言わん。日帰りがかまわんから、普段の自堕落な生活を贖い清めるような体験をしてきて欲しい。

もちろんひとつだけじゃだめだ。キサマらのこと、早々に切り上げて般若湯とか般若湯とか般若湯…と言い出すのは目に見えている。複数の修行体験を申し渡す。

そして場所だが、これはもう、高野山しかあるまい。言わずと知れた高野山は、和歌山県の山深くに弘法大師が開いた日本を代表する真言密教の聖地であり、ユネスコの世界遺産にも登録されている日本を代表する宗教都市である。そして今年が開創1200年という節目の年でもある。

さて現地では、指令である修行体験とともに、絶食を申し渡す。キサマらのこと、どうせ下山すれば精進落としなどと言って酒や肉におぼれることお見通しである。せめて荘厳な山中だけでも、欲を捨てた清らかな心と体を維持してもらおう。ただ昨今の情勢を鑑み、水分の補給は認める。ただし般若湯はだめだぞ。

高野山へは南海電車で往復してもらおう。特急「こうや」への乗車を認めるので鉄道研究会としての調査活動もしてもらおう。

以上である。指令を理解したら、速やかに実施し報告されたい。

なお、このテープは自動的に消滅する。しゅううううう。

